

令和5年11月4日

滝沢市議会議長 角掛 邦彦 様

滝沢市議会議員 菅野 福雄

政務活動（調査研究・研修・要請陳情等）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第9条に規定する使途基準に基づき、政務活動（調査研究・研修・要請陳情等）を実施したので、報告します。

記

1 期日

令和5年10月17日（火） から 令和5年10月18日（水） まで

2 活動場所

① 日本青年館ホテル8Fカンファレンスルーム

3 活動内容

別紙のとおり

政務活動シート

調査主体： 菅野 福雄

調査項目名称	調査研究(視察含む) ・ <u>研修</u> ・ 要請陳情等
活動の理由 及び その目的	<p>第28回清溪セミナーは「子どもを守る」をテーマに掲げています。今年4月には子ども家庭庁が発足しましたが、児童虐待は右肩上がりが増え続け、1週間に一人の子どもの命が奪われています。子どもを守るのは大人の責任、その責任を果たすためにどう動くべきか、国の動き、地方自治の現場のみならず、医療や福祉の現場で起きていることなどを知り、本市の政策に生かしたいと考え受講しました。</p>
活動概要	<p>●実施日 令和5年10月17日～18日</p> <p>●場所 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1 日本青年館ホテル8Fカンファレンスルーム</p> <p>●内容 1日目：①二人は同時に親になる～『産後』のずれの処方箋・講師：狩野さやか[子育てアドバイザー・ライター] ②地域における顔の見える切れ目ない子育て支援・講師：井上登生[小児科医] ③子どもたちのところと命を守るために～学校にアウトリーチするNPO～・講師：重永侑紀[にじいろCAP、子どもNPOセンター福岡代表理事] ④こども家庭庁の創設とこども政策・講師：山田太郎[参議院議員] 2日目：⑤子どもを本気で応援すれば、まちは元気になる・講師：泉房穂[前明石市長]⑥ヤングで終わらないヤングケアラー・講師：仲田海人[作業療法士] ⑦すべての子どもの成長と、子育てを支えるためには・講師：野田聖子[衆議院議員]</p>
活動成果	<p>・③のにじいろグループはNPO法人で子どもの心と命を守る地域づくりを目指している。福岡県、佐賀県、熊本県に拠点を置き、子どもにやさしい街づくりや暴力防止などのプログラムを展開している。代表理事の重永侑紀氏は「すべての子どもが生まれてきてよかったと思えるように」というスローガンを掲げ、子どもたちとともに世界を作っていくことを目指している。子どもへのSOSの出し方教育プログラムや自殺予防SOSの出し方教育・デートDV予防教育、専門学校・短期大学・大学生のためのオリエンテーションなどを行っている。自治体の様々な部署と委託契約を結び、年間に800本の講演会・研修・ワークショップを開催。そのうち小学校でのワークショップ300クラスを行い、おとなたち一年間10,000人、子どもたち16,000人の参加者があった。SOSの出し方ワークショップでは就学前、小学生、中学生、思春期と区分してプログラムを作り実践している。「あんしん」「じしん」「じゆう」が子どもに特に大切な3つの権利として育んでいく必要があると言っている。</p>

<p>活動成果</p>	<p>・⑤明石市の子ども政策は各方面から絶賛されています。独自の子ども政策を推進しており、医療費は18歳まで全員無料。保育料も第2子以降は基本的に全員無料。おむつは満1歳まで無料で宅配、中学校の給食費を無償化、遊び場は親子ともに入場料無料とし国にはできないことを実践している。泉市長は「要は古い政治。みんなできないと思い込んでいるが、明石市がやっていることは難しいことではない。他の国で当たり前に行っていることをやっているだけ」と話している。「すべての子どもたちを町の人みんなで本気で応援すれば町の人々が幸せになる」というスローガンのもと施策を実行している。前提として「みんなな財源論を語るが、お金を何とかするのが政治。『お金がない』と言い訳するのは政治家の仕事ではない。あろうがなかろうがやる、それをやるのが最初」と語りつつ、まずやることとして”施策”をあげています。「施策を行うことで、町に安心が生まれ、そういった町に住み続けたい、そんな街であればもう一人産める。だから明石市は人口が増え、出生率が増えている。その結果として町が賑わい、経済が活性化。税収が増え、財源が出来、ひいては子どものみならず、障がい者施策や高齢者施策など幅広い施策が可能になるという好循環を生むサイクルができた」と説明しています。</p> <p>●所感 上記の2つの項目は子ども政策として特に印象付けられ、目からうろこが落ちました。③の方はNPO法人で、⑤の方は地方自治体であるが、両方とも方針が示されればその目標に向かって徹底的に邁進する状況が感じられました。本市では第2次総合計画の作成に取り掛かっていますが、重要視点5項目やSDGsの17項目をすべて取り上げるなど中心課題は何なのかハッキリしていません。財政が厳しい中優先的に取り組むべき事業を選択し、既存事業の見直しを図りながら思い切った施策も考える必要があると思います。</p>
-------------	---

研 修 行 程 表

年 月 日	時 刻	行 程
令和5年10月17日 (火)	<p>9:06～11:56</p> <p>12:30～18:45</p>	<p>盛岡駅⇒東京駅 (JR 新幹線はやぶさ 108号)</p> <p>【研修】 日本青年館ホテル8Fカンファレンスルーム (新宿区霞ヶ丘町4-1) 「第28回清溪セミナー」</p> <p>【宿泊】 京王プレッソイン新宿 (新宿区西新宿3丁目4-5)</p>
令和5年10月18日 (水)	<p>9:00～15:00</p> <p>16:20～18:33</p>	<p>【研修】 日本青年館ホテル8Fカンファレンスルーム (新宿区霞ヶ丘町4-1) 「第28回清溪セミナー」</p> <p>東京駅⇒盛岡駅 (JR 新幹線はやぶさ 35号)</p>